

## 6/29 置戸のフキを学校給食に

学校給食センターでは、子どもたちに地元の新鮮な山菜を味わってもらおうと、恒例のフキ採りを行いました。この日はハンター同行のもと町職員など15名が十勝三又に近い鹿ノ子ダムの奥まで出かけ、約200kgのフキを収穫。収穫されたフキは皮をむき塩漬けにして保存され、フキご飯や油炒めなど多くの献立に取り入れられます。



## 6/30 まちの中心部で川下り体験

ふるさと少年クラブの子どもたちが、まちの市街地を流れる常呂川でラフティングを楽しみました。小学4～6年生の30人が、班に分かれてボートに分乗。ライフジャケットとヘルメットを身に着け、拓殖橋上手から種川合流点までの約2キロ区間を下り、橋の上から手を振る保護者などに笑顔で応えていました。



## 7/1 サクラマスの遡上を手助け

置戸町清流とやまへの会は7月1日、中里の常呂川支流オンネアンズ川魚道の清掃ボランティアを行いました。この日集まった会員10人は、上流部にある最も大きな魚道を約1時間かけて清掃。スムーズな水の流れを確保しようと魚道にたまった流木や土砂などを丁寧に取り除き、サクラマスが遡上しやすい環境を整えました。



## 7/1 パークゴルフで健康、親睦

置戸町自治連絡協議会主催の全町自治会対抗パークゴルフ大会が7月1日、おけとパークゴルフ場で開かれ、28チーム112人が参加しました。この大会は、健康づくりと自治会間の親睦を兼ねて続く恒例行事で今回で20回目。参加者は4コース36ホールで日頃鍛えた腕前を発揮し、今年は拓殖Aチームが見事に優勝の栄冠を手に入れました。

